



九州大学ヨット部通信

3月号

Kyushu University Yacht Club

◎ 九州新人学生ヨット選手権大会

3月25日、26日に福岡市ヨットハーバーにて新人戦が行われました。代が変わっての最初の大会ということもあり、今年一年を占う重要なレースです。部員一同、最大限に準備しこの大会に挑みました。

結果として九大ヨット部はこの新人戦において総合優勝を勝ち取ることができました。また、個人成績においても国際470級で永野俊輔/金子壮太ペアが、

国際スナイブ級で高山達矢/都田悠輔・鹿野千尋ペアが1位という成績を収めました。このような成績を収めることができたのも、寒く厳しい春練習を部員全員で乗り越えてきたからではないでしょうか。

しかし、課題も多く見つかりました。新人スキッパー、新人クルーにとっては初めての大会ということもあり、長いレグでのレース展開に多少戸惑うこともあったと思います。また、リコールなどの改善できるミスもありました。

今回の成績に満足することなく、全日本インカレ総合優勝へ向けたステップアップのために、よく反省し今後の練習に繋げていきたいと思っています。



◎ 学内新人戦

3月29日に学内新人戦が行われました。新2年生が全員シングルハンドのヨットに乗って出艇し、6レースを行いました。2年選手がこの1年間で磨き上げ



たセーリングのスキルを存分に発揮し、熱い戦いが繰り広げられました。

学内新人戦は、第1回大会での麻生先輩の優勝を記念した麻生杯、練習中に事故で亡くなられた白水先輩のご冥福を祈る白水杯の二つの優勝盾を争います。一体誰が2つの盾を手にしたのでしょうか。

経験者に対して初心者が下剋上を起こすのかといった様々な予測がなされましたが、やはりヨット経験者に軍配が上がり、ジュニア出身の榎原 豪君が優勝しました。このレースを機会により一層スキル向上に努めていきたいと思えます。

